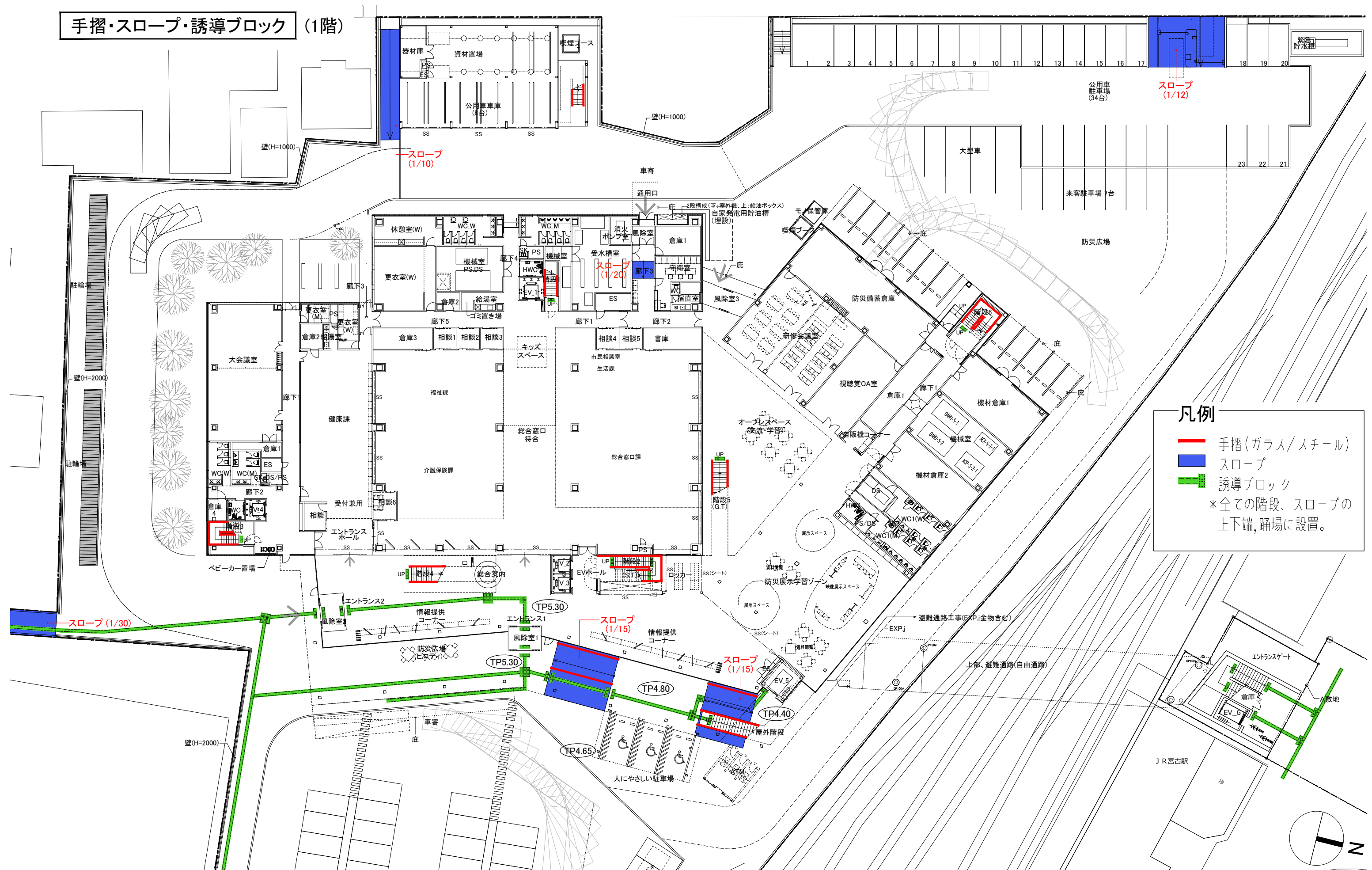


## 資料2 ユニバーサルデザイン計画




No	ジャンル	項目	導入予定	備考
1	廊下・階段等	手摺・スロープ・誘導ブロック	○	各種基準などを基に別図のとおり検討している。→詳細は2～3P参照
2		衝突防止用ミラー	△	廊下、階段の死角部分にミラーを設置したいとの要望であったが、現時点では視認性に配慮して設計を進める。供用時点で必要性を再度検証する。
3	トイレ	トイレブース	○	大便器の扉は、空きの時は「常時開いているタイプ」とする。
4		便器の配置、戸の開閉	○	障がいに応じて、トイレを使い分けできるよう、便器の設置位置、戸の開閉方向は場所によって変更する。→詳細は、4～5P参照
5		折畳式ベッド	○	一部に設置する。→詳細は、4P参照
6		トイレ寸法	△	便器の高さは450mm、手すりの高さは720mm、ペーパー取り付け高さは950mm程度の要望であったが、便器の高さは、高齢者等の利用に配慮し、一般的な高さ400mmで検討する。→詳細は、6P参照
7		トイレの操作基盤	○	脊髄損傷者は、便器の前方に車椅子を正対させ、手すりを利用して移るため、洗浄等の操作基盤は、移動の妨げにならないよう、リモコン又は壁面に設置する。
8		非常用「発光フラッシュ」	○	一般フロアは職員による避難誘導対応とするため、不要とする。 多目的トイレは、使用時の避難誘導が難しいため設置する。→詳細は、8P参照
9		男性・女性専用の障がい者用トイレ	×	多目的トイレであるので、男性専用、女性専用は設けない。
10	会議室・ホール	ガラス窓(出入りドア)	○	部屋の外からまたは部屋の中から人が近づいて来ていることが一目でわかるようにする。
11		多目的ホールの座席	○	演台が見えるように階段式(ロールバックチェア)とする。→詳細は、7P参照
12		磁気誘導ループ	○	聴覚に障がいを持つ方(難聴)が音声を聞き取りやすくする。→詳細は、8P参照
13	エレベーター	ドアシグナルランプ	○	エレベーター扉に、定員オーバーやドアが閉まる時の音声アナウンスや閉じ込め時のお知らせを、音情報に加えて視覚的にわかるようにする。
14		ガラス戸(エレベーター)	△	非常時に外部と通信できる機器の設置を検討する。室内のエレベーターの戸をガラスとすることは消防法上の規制があるため、避難通路の南北2箇所(外部エレベーター)のみ設置を検討する。

※ユニバーサルデザイン推進会議の資料や、各種ガイドブックを参照して作成。ひとにやさしいまちづくり条例のチェックリストは別様式にて確認済

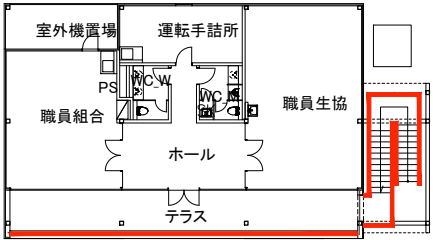
手摺・スロープ・誘導ブロック (1階)



—凡例—

-  手摺(ガラス/スチール)  
 スロープ  
 誘導ブロック  
 ＊全ての階段、スロープの  
 上下端、踊場に設置。

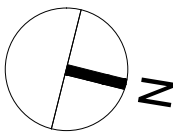
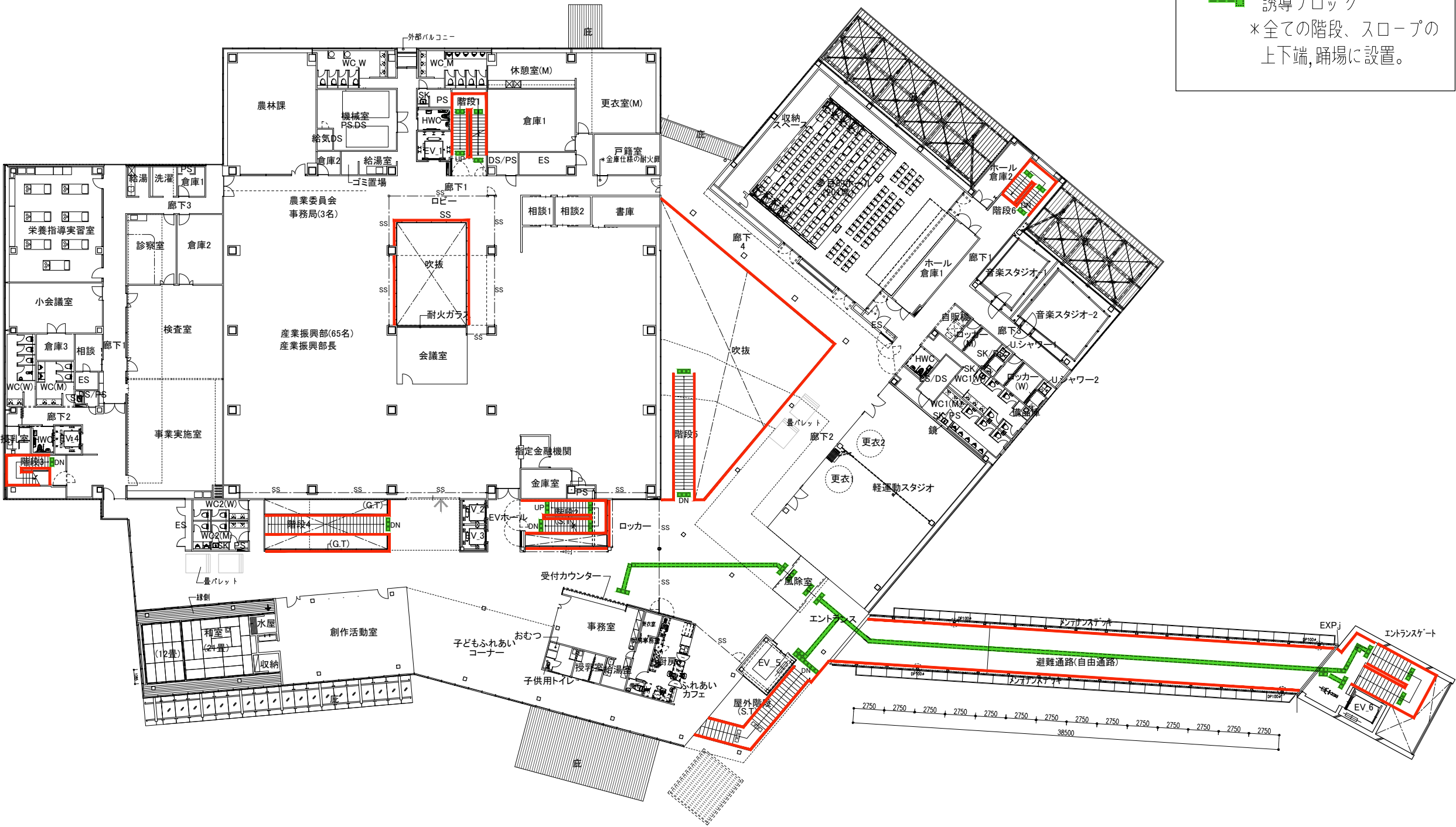
手摺・スロープ・誘導ブロック (2階)



**凡例**

- 手摺 (ガラス/スチール)
- スロープ
- 誘導ブロック

\*全ての階段、スロープの  
上下端、踊場に設置。

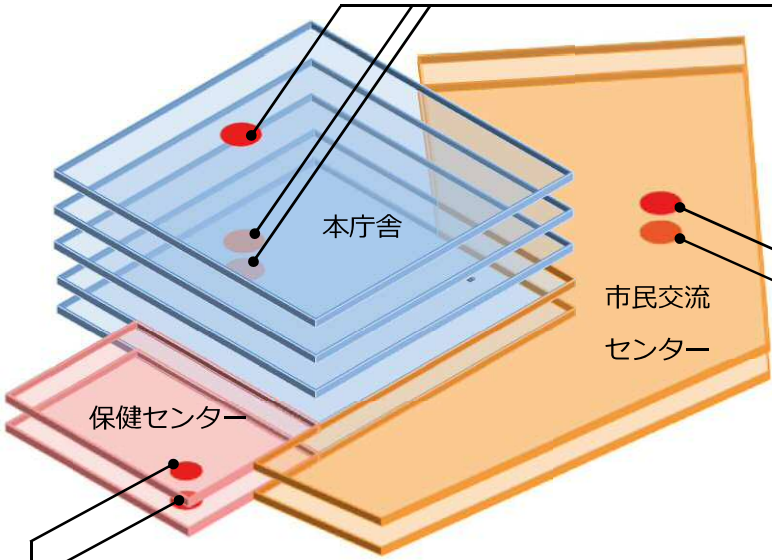




多機能トイレ

機能分散トイレ計画

利用者特性に応じ、本庁舎には乳幼児連れ配慮、保健センター・市民交流センターには大型ベッド使用者配慮の機能を付加し、多機能トイレに求められる配慮機能を分散させることで、利用集中の軽減と混雑緩和を図ります。



保健センター

2F

車いす使用者  
配慮プラン

●右勝手

1F

車いす使用者・  
大型ベッド使用者配慮プラン

●左勝手  
●大型ベッド

配慮  
ポイント

・利用者の多い1Fには大型ベッド使用者配慮  
・左右勝手反転プランー 1F：左、2F：右  
(片マヒの方、障がいによる使い勝手配慮)

大型ベッド使用者配慮

大人が横になれるスペースのあるベッドを設置します。障がい者や高齢者が安心して利用でき、来庁の機会が広がります。

- ・自立車いす使用者の自己導尿
- ・介助付きの車いす使用者のおむつ交換、衣服の着脱など

車いす使用者配慮

車いす使用者の利用に適したトイレは、車いすでの方向転換や便器へのアプローチ、または介助のためのスペースを必要とします。

- ・車いす回転可能 (Φ1500mm確保)
- ・移乗方向制限なし (正面・斜め前方・直角・側方アプローチ)
- ・移乗しやすい便器、便座
- ・姿勢保持、立ち座りを補助する手すり

本庁舎

5F

車いす使用者・  
オストメイト配慮プラン

●左勝手  
●オストメイト流し

4F

3F

2F

車いす使用者・  
乳幼児連れ配慮プラン

●右勝手  
●ベビーチェア  
●ベビーシート

1F

車いす使用者・  
乳幼児連れ配慮プラン

●左勝手  
●ベビーチェア  
●ベビーシート  
●幼児用小便器

市民交流センター

2F

車いす使用者・オストメイト  
配慮プラン

●左勝手  
●オストメイト流し

1F

車いす使用者・オストメイト・  
大型ベッド使用者・乳幼児連れ配慮プラン

●右勝手  
●オストメイト流し  
●大型ベッド  
●ベビーチェア

配慮  
ポイント

・キッズスペース (1F) に対する乳幼児連れ配慮  
・左右勝手反転プランー 1F/5F：左、2F：右  
(片マヒの方、障がいによる使い勝手配慮)

乳幼児連れ配慮

親も子ども安全・安心にトイレを利用できるように、親が用を足す間の子どもの居場所やおむつ交換ができる空間を用意します。ベビーカーごと入ることができるスペースも確保します。

ベビーシート (開閉式)

・生後1ヵ月～24ヵ月まで  
・寝かせておむつ交換

※ベビーシートは、保護者が乳幼児から目を離したり離れたりすることなく、常に安全に配慮しながらご利用いただく必要のある器具です。保護者が排せつや手洗いの際に乳幼児を寝かせておく台としての使用はできません。

ベビーチェア

・生後5ヵ月～2歳半まで

※乳幼児を連れた保護者が排せつや手洗いの際に乳幼児を座らせておくための器具です。

車いす使用者配慮

オストメイト (人工肛門・人工ぼうこう保有者) の方の排せつ物処理、ストーマ装具の交換ができる流しを設置します。

- ・あふれ面が高く、楽な姿勢で作業できる汚物流し (お湯の出るシャワーを備えたもの)
- ・荷物やケア用品が置ける棚、フック
- ・ストーマ装具の装着状況が確認ができる鏡

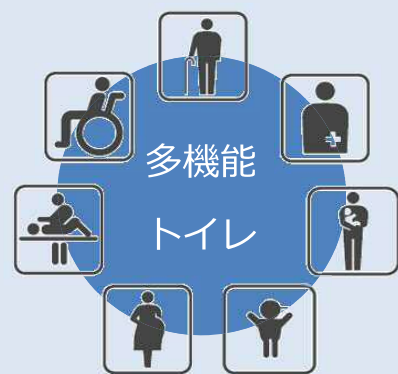
配慮  
ポイント

・左右勝手反転プランー 1F：右、2F：左  
(片マヒの方、障がいによる使い勝手配慮)  
・利用者の多い1Fには大型ベッド使用者配慮

車いす使用者配慮

オストメイト配慮

大型ベッド使用者配慮

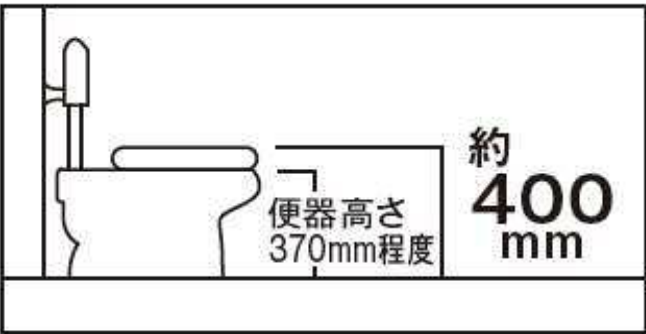


多機能トイレの利用者は、車いす使用者に限らず、  
オストメイト、子ども連れなどさまざまです。  
ユニバーサルデザインの観点から、  
多様な利用者への配慮が求められます。

- 腰掛便器には一般便器と、車いす対応便器（高座面）があります。
- 腰掛便器への移乗方法は使用者の身体状況により異なります。  
自力で腰をスライドさせて車いすから便器へ移乗する（水平移乗）の場合や、  
いったん車いすから立ち上がり、方向転換して移乗する場合、介助者が移乗  
させる場合などさまざまです。
- 公共性の高いパブリックトイレではさまざまな方の利用が想定されますので、  
多機能トイレを含めたすべてのトイレで一般的な高さ（400mm程度）の  
便器の設置をおすすめします。

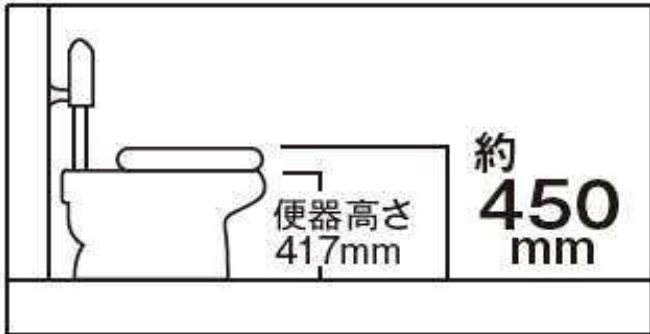
一般的な高さの便器

オススメ



公共性の高いパブリックトイレでは、さま  
ざまな身体状況に配慮し、便座上で足が床  
に着き、座位姿勢が安定しやすい一般的  
な高さ（座面高さ400mm程度）をおすすめし  
ます。  
高齢者、一般の方に適した高さです。

車いす対応便器



車いす対応便器（高座面）は、座面高さが通  
常の便器より高く、450mm程度になってい  
ます。この便器は自力で腰をスライドさせて  
車いすから便器へ移乗（水平移乗）する方な  
どに使いやすいとされています。障がい者施  
設などに設置されるケースもあります。

使いやすさ

高齢者

○

一般

○

子ども

○

車いす使用者

○

立ち上がって移乗

使いやすさ

高齢者

△

一般

△

子ども

×

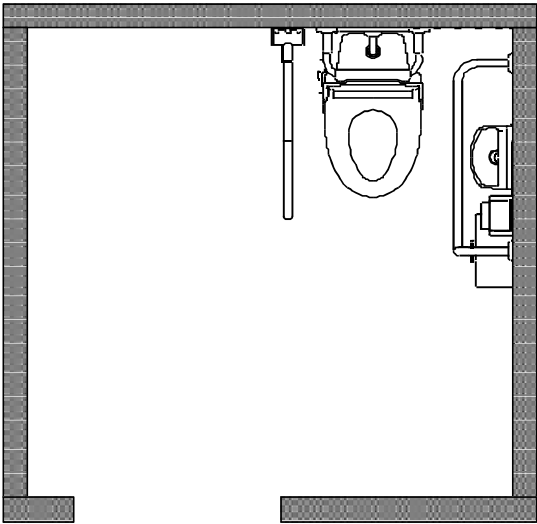
車いす使用者

○

腰をスライドして移乗



対角設置



メリット

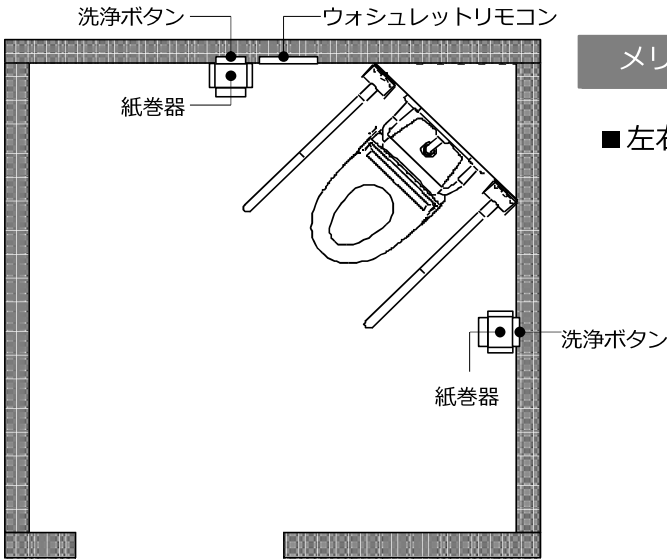
- 車いすでのアプローチ方法は、正面・側方・斜め前方の各方法で行うことができる。
- 壁に取り付けた紙巻器、大便器洗浄操作ボタンが使いやすい。
- 壁にL型の手すりが設置できるので、立ち上がりの動作がしやすい。
- 片方が可動手すりなので、車いすから大便器への移乗や介助の邪魔になる時に、動かすことができる。
- 大便器に座ったまま手の届く位置に手洗器を設置できる。

デメリット

- （片方の壁に寄っているので）片マヒの人で逆勝手になる場合がある。

⇒複数の多機能トイレを設置する場合は  
左右勝手違いのプランを設けることで解消

斜め設置



※ウォシュレットとリモコンは1対のため、  
リモコンは片側にしか設置できません。

メリット

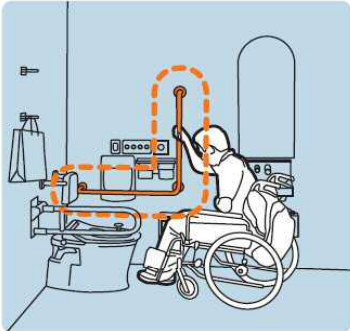
- 左右どちら側からでも、アプローチできる。

デメリット

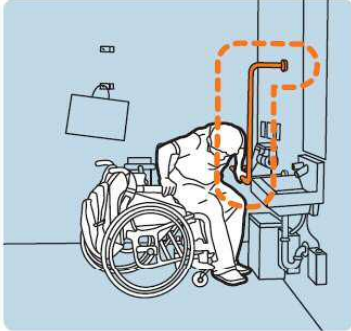
- 壁に取り付けた紙巻器と大便器洗浄操作ボタンが大便器より遠くなり、使いづらい。
- 縦手すりが設置できない。
- 大便器に座ったまま使用できる手洗器の設置ができない。

< 参 考 >

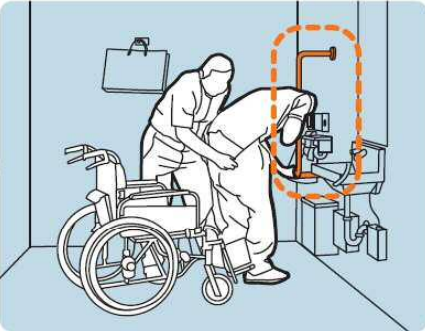
■壁側手すりの有効性



**車いす使用者（自立）立位移乗時**  
立ち上がる時に手すりの垂直部分で体を支えます。

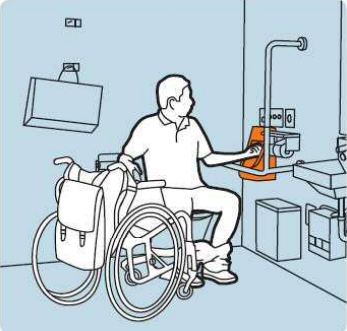


**車いす使用者（自立）座位移乗時**  
立ち上がらずに自力で腰をスライドする時は手すりの水平部分がブッシュアップで使用する際に有効です。



**車いす使用者（要介助）脱衣時**  
被介助者に手すりを支えにして一時的に立ってもらい、介助者が被介助者の脱衣をさせることが出来ます。

■便器横手洗器



排せつ障害を伴う障がい者の摘便（指で便をかき出す行為）のあとや、上肢に障がいがある方の排せつの後始末・生理の処理などの際に手などが汚れた場合などを考慮し、大便器に座ったまま手の届く位置への手洗器設置が有効です。

■視覚障がい者への配慮



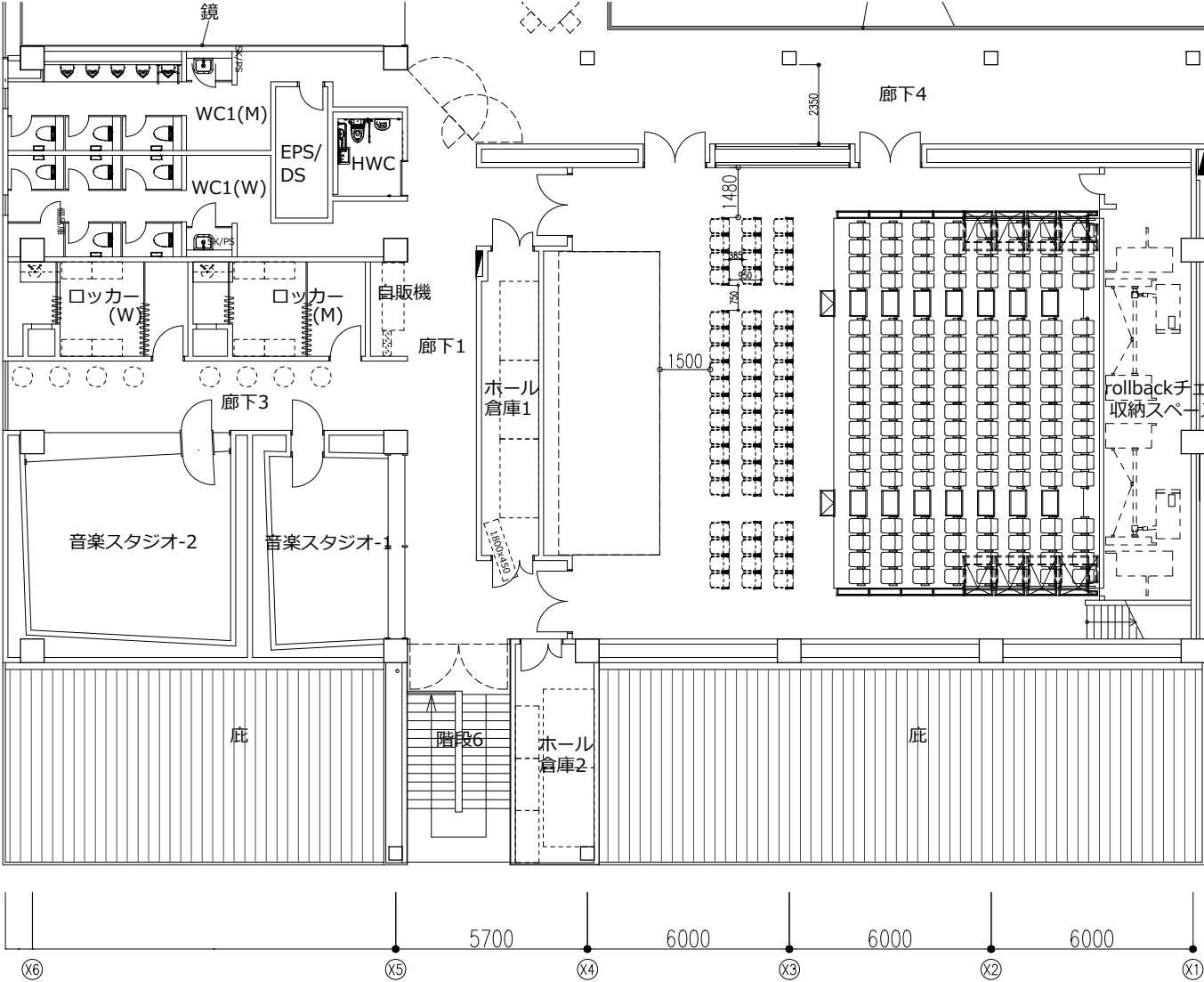
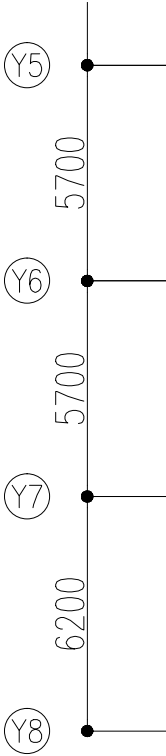
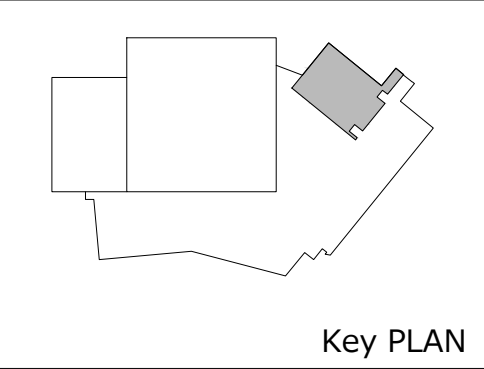
全盲の方はトイレ内の設備を手探りで、弱視の方は設備に顔を近づけて確認するため、距離が離れてしまうと分かりづらくなる恐れがあります。

■多目的ホール

位置：市民交流センター(仮称)の2階  
面積：多目的ホール 約294.07㎡  
ホール倉庫1,2 約33.70㎡  
仕様：  
電動式移動観覧席 客席用連結椅子(背・座・肘連動スプリングレス自動折り畳み式)

ロールバックチェアースタンド 電動式移動観覧席  
床面仕上材 タイルカーペット (SKBまたはSKL)

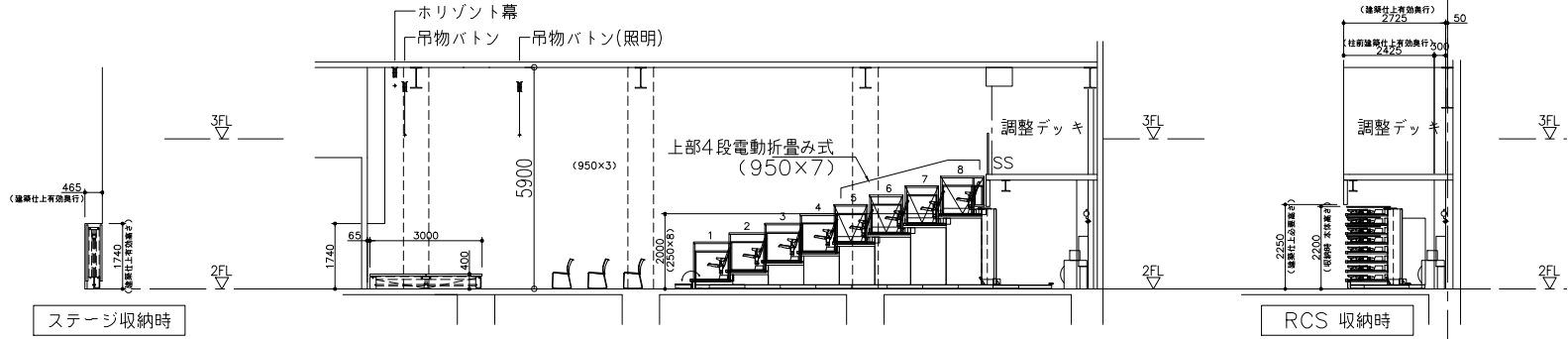
電動式収納ステージ  
ステージフロアー ナラフローリング化粧合板  
カマチ ナラ集成材 ポリウレタンクリア塗装  
前幕板 ポリエステル化粧合板 目地付施工 (ナラ木目)



平面図	A3: 1/200
	A4: -



\* イメージ写真の床、壁、天井の仕上げは本計画とは異なります。

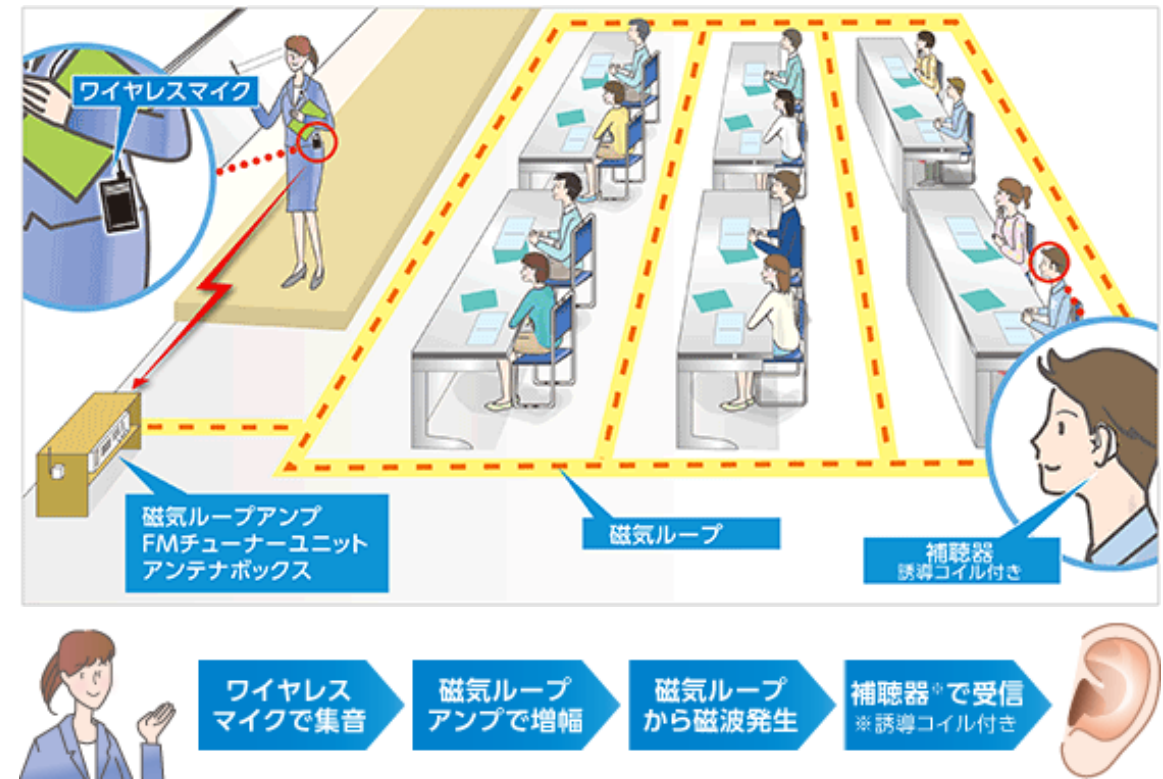


断面図	A3: 1/200
	A4: -

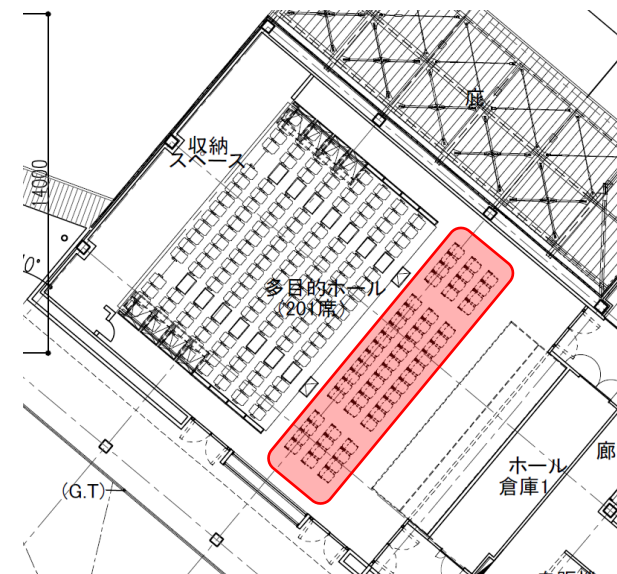


補聴設備について

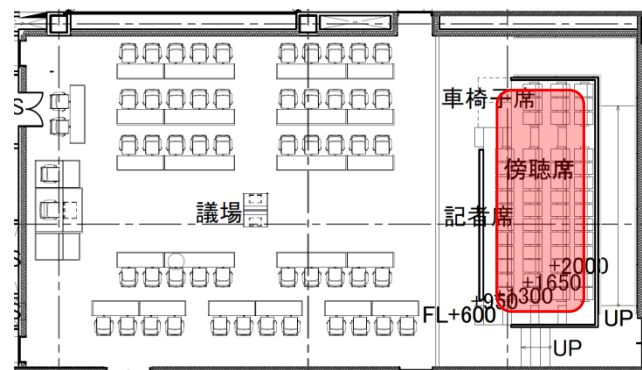
■磁気ループ補聴システム・・・2F 多目的ホール（一部）、5F 議場（傍聴席の部分）に設置予定  
床に磁気ループを設置することにより、音声を伝えることができます。  
誘導コイル付の補聴器で聞くことが出来るため、補聴器の切替操作のみで簡単に利用できます。



■磁気ループ補聴システムの適用範囲



2F 多目的ホール

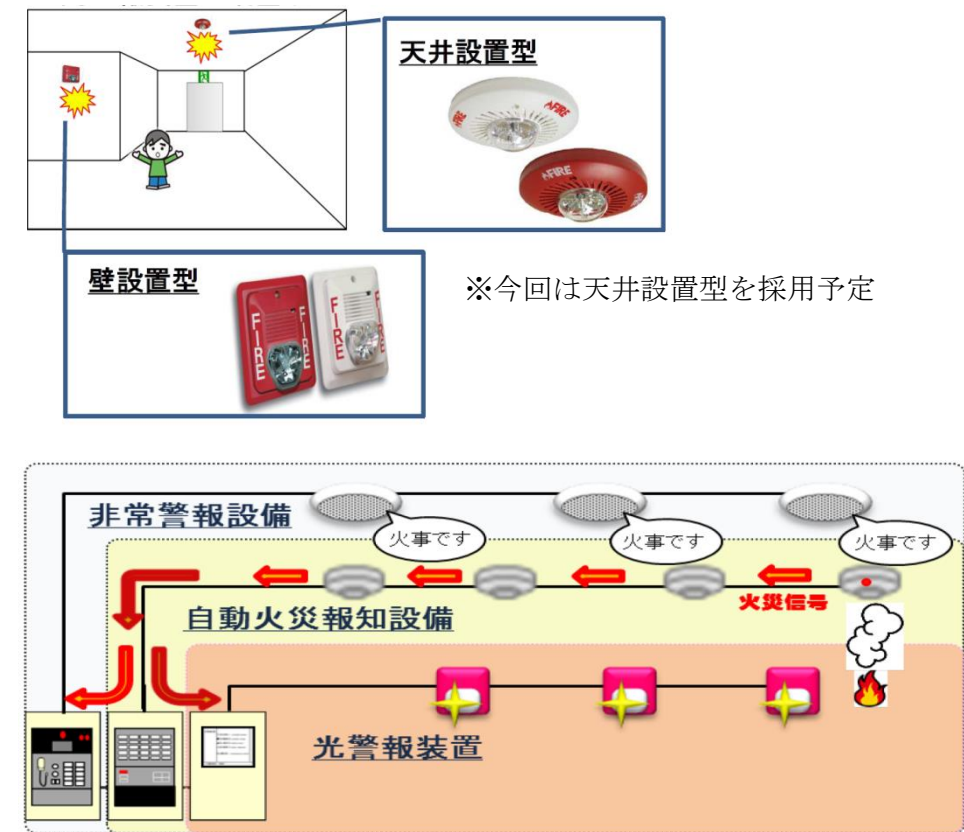


5F 議場（傍聴席）

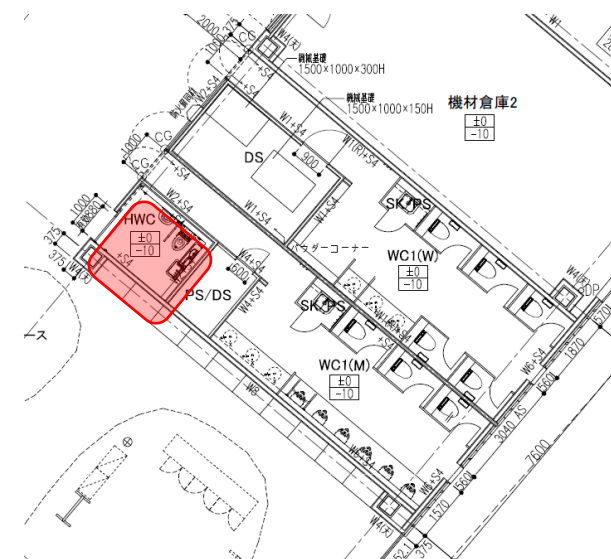
引用：リオン株式会社ホームページより

光警報設備について

■光警報設備・・・各階の多目的トイレに設置  
火災を感知すると、従来の音による警報に加えて、光による警報を發します。  
光警報設備が発光することで、視覚的に火災警報を確認することができます。



■システムの適用範囲



例：1F 市民交流センター

各階の多目的トイレに設置（合計7ヶ所）

- 1F：市庁舎×1  
市民交流センター×1  
保健センター×1
- 2F：市庁舎×1  
市民交流センター×1  
保健センター×1
- 5F：市庁舎×1

引用：総務省消防庁ホームページより